



発行元：(株)道新販売センター 青葉中央販売所
〒004-0021 厚別区青葉町6丁目1-33 ☎0120-881-365 FAX891-3486
営業時間 平日：9時～20時 日祭日：9時～12時

2020/ 7/5
日曜日

厚別アラ歩き #34 ひばりが丘⑦ 厚別旭町にあった私設公園

明治から大正にかけて厚別を開拓した一人、阿部仁太郎の功績をたどってきました。図1は阿部家ご子孫所蔵の古図面です。「阿部農場関係書類 昭和九年整理」という表題の綴りに含まれているもので、目次によると「厚別水田実測図 昭和八年度 安藤近藤測量」の一枚です。上下を逆さにしましたので、元図の文字は下から上に書かれています。わかりやすくするため、それぞれの箇所に加筆し、方位を右上に示しました。

この図面はどのあたりを描いたものでしょうか。その場所を推測しました。図2は1961(昭和36)年の空中写真(国土地理院サイト)です。図1に描かれている一帯を赤い□で囲みました。現在の国道12号が三里川をまたぐあたりです。三里川の兩岸にかけて、水田が写っています。昭和30年代、市営住宅ひばりが丘団地が造成されましたが、周辺にはまだ水田が広がっていました。

図1は、昭和初期にこのあたりで農場を経営していた阿部家の水田の面積を計測したものと思われます。川らしき線が3本描かれていて、真ん中の太い線が三里川です。水平方向に通じている茶色の太い線には「国道」と書かれています。国道12号です。

この図が興味深いのは、右方に池が描かれていて、「養魚」と「垂(原文ママ)蓮池」と記され、その左右に「公園」と書かれていることです。赤い矢印を付けた先に小さな字で「旭町公園」と書かれています。ご子孫や当時を知る方の話では、「阿部公園」とも呼ばれ、昭和30年代まではあったようです。池は湧水だったと伺いました。三里川が削った崖線に沿って水が湧いていたものとみられます。「公園」と称したのは、阿部仁太郎(末注)がこのあたりの住民(小作者や賃借者)にも開放して、憩いの場としていたのでしょう。行政が設けた公園は自治体史や郷土史の文献にも記録されていますが、篤志家が地域のために開いた私設の庭園のことはあまり知られていません。旭町公園(阿部公園)は、厚別における住民の行楽地の先駆けだったのではないのでしょうか。

(地域史研究者 杉浦正人)

注：昭和初期は阿部家の三代目初太郎の時代だが、初太郎も父仁太郎の名を襲名した。

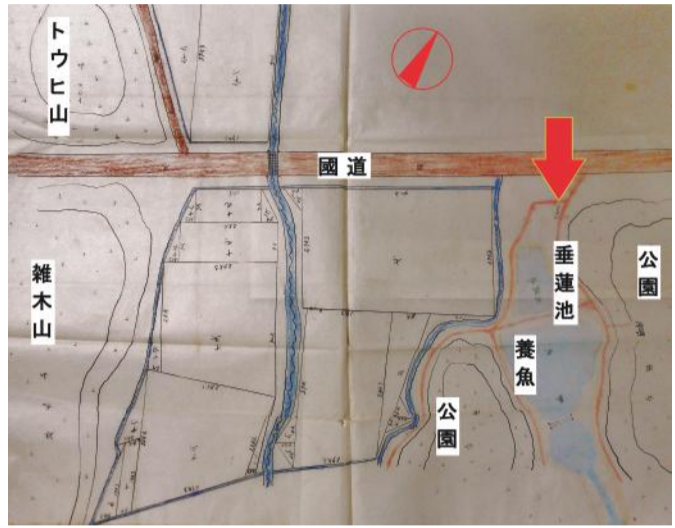


図1：厚別水田実測図 1933(昭和8)年(阿部家所蔵史料から)



図2：空中写真 1961(昭和36)年(国土地理院サイトから) 赤い□で囲ったところが図1の一帯

道新 青葉中央販売所は献血活動を応援しています

命を救うボランティアみんなで献血へ行こう！



★みなさまの血液は、誰かのいのちに繋がります★
～ A型・O型・AB型の不足に非常に困っています～

～新さっぽろ献血ルームのご案内～

- ◆厚別中央2-5 Duo(デュオ) 地下1階
- ◆受付時間 ①10:00～13:00 ②14:00～18:00

★休憩スペースにはクッキーなどお菓子をご用意しております。
また、キッズスペースも充実！安心して献血いただけます。

